

18. 修士論文・博士論文のタイトルの収集について

「数学通信」では毎年第1号において、前年度の修士論文と博士論文の提出者と論文名を収集して公表してまいりました。しかし、これらの情報は個人情報にあたり、個人情報保護に対する昨今の意識の高まりも考慮すると、これらの情報の取り扱いについては慎重であるべきであると考えられ、とくにこれらの情報を収集・公開することについて今後本人の了解をとるようになるべきであるとおもわれます。このことに加えて、最近に掲載を希望する数学教室が多岐にわたり、修士論文数も増大しております。その結果、事務作業も極限に近いものとなっております。

理事会は、数度にわたりこの問題について議論をした上で

「情報収集を博士論文に限り、本人の意思確認を各数学教室に依頼する形に変更すること」

の検討を編集委員会に依頼しました。

これを受けて、岡山大学において9月22日に開かれた編集委員会でこの問題について議論しました。そこでは理事会が個人情報の取り扱いとして考える問題点が理解されました。しかし、この変更についての反響が大きいかもしれないことを考慮して、慎重を期すために、会員および各数学教室に意見を求めた上で、上記の方針についてさらに検討することとしました。この件で意見のある方は

thesis@math.or.jp

にお送りくださりますようお願いいたします。

(「数学通信」編集委員長 戸瀬信之記)